

甲南中学・高校  
図書館  
図書委員会  
芦屋市山手町  
31番3号

# 読書三昧

第84号  
平成24年2月15日  
高二 秋山 和寛  
裕 一稀  
橋本 涉

## 灘甲戦の報告

灘甲戦交流会を振り返って  
高校2年 秋山 和寛

今回の交流会では『神の子』もたちらはみな踊る』という本について話し合いました。

この本は「地震のあとで」と題して「新潮」に掲載された5編の連作短編に書き下ろしを加えた短編集で、大震災のテレビニュースを一日中見ていた妻が急

ます去年三月にあって、東日本大震災について各々の意見交換を少ししました。その後



『神の子』供たちはみな踊るのなかでそれぞれ印象に残っている話を紹介しました。中でも「かえるくん、東京を救う」という話の人氣が高く、何

人もの人が印象に残っている話として挙げていました。また「UFOが釧路に降りる」「かえるくん、東京を救う」「蜂蜜ハイ」と話を終ることに地震とは関係がなくなっていて、これは人々の意識からだんだん震災のことが忘れられている事を暗示しているのでは？という意見や、阪神淡路大震災の起こった約2ヵ月後に地下鉄サリンが起ったことから「蜂蜜ハイ」に出てくる「沢の分からはじさん」がオウム真理教の信者を表しているのではないかと等様な意見が出ました。

たのは何か理由があるように思われました。これについては「作者自身地震が起った時には海外に居て実際には体験しておらず、読者のほとんども体験していないから」や「ただ単に地震という事実を持ってきただけで、作者は本当は他の事に繋がったのでは？」という意見が出ました。

こゝまでは一つ一つの話についてや、作者がこの本を書いた動機について意見を交換していましたが、その後話題はタイトルについてのものになりました。まず、「そもそも何故この本のタイトルを『神の子たちはみな踊る』にしたのか？」ということが話題に挙がり、「キリスト教やユダヤ教では人のことを『神の子』と呼ぶことから、『神の子たち』とは人間全てを指しているのでは」という意見から更に、「踊るといふのは人間が神の手の上で踊らされているのでは」という意見も出ました。

さて、それでは毎回恒例(?)の戦況報告をしたいと思えます。今回の図書委員会交流会は甲南が三人、だう人援軍が来て最終的には四対九という非常に苦しい状況でした。自分は今これまで諸事情がありほとんど交流会に参加することが出来ず、実質これが初めての交流会でした。そのため場の雰囲気にもまれてしまい中々積極的に発言することが出来ず、結局副委員長に終始頼りきる形となっていました。副委員長御免なさい今年のもう一度は本来自来、灘で行なう筈だったので、灘が改装中の為再び甲

目次	
1	灘甲戦を振り返って
2	生物科 平田先生 「朝読と私の読書」
2~3	研修会に行つて
3~4	文化祭の報告
4~6	本の紹介 ・お知らせ

南で行なわれず。次はもう少し落ち着いていこうと思えます。最後に、もう何度も書きましたが、人数が足りないです。少数精鋭といえは聞こえは良いですが結局は物量に勝る方が勝つということ。ベルシア戦争でのスバルタ・太平洋戦争での日本などからも知ることが出来ます。私達図書委員長、及び副委員長は暇な図書委員運動部でなければ暇な者、もしくはやる気のある人の交流会への参加を待っています。興味のある人は行なわれる三日前でもいいので司書の方々に言ってください。今年も人数が増えることを願っています。



春、新年度になって  
すく頃、新中一年の  
学年団で「朝読」の実  
施が決まった。「朝読  
とは、朝の始業前にク  
ラス全員で読書をする  
ものである。とりわけ  
大反対する理由もなか  
たが、本当にうまく運  
用できるだろうか、と  
いう心配があった。み  
んなで静かに「本を読  
む」状況が想像できな  
かった。遅刻しても進  
級に関わる訳でもなく  
明確な目標があるわけ  
でもない。何より私自  
身 経験したことがな  
かった。正直なところ  
期待半分不安半分とい  
ったところであった。  
実施に関して、決めら  
れていることは次の3  
つだけである。

読書時間は朝八時十  
分から二十分まで十分  
間  
特別な行事などがな  
い限り毎日行う。  
クラスには教員一人

が入る。  
朝の、たったの十分  
である。こんな短い時  
間でどれだけ読めると  
いうのか、と思われる  
かも知れない。本のジャ  
ンルや内容にもよるの  
でページ数では表しに  
くいが、集中すれば思っ  
た以上に読み進められ  
るものである。  
生徒と一緒に読書を通  
して時間を共有する。  
普段の授業とは違い、  
教師も生徒と同じ位置  
で同じことをしている  
のが新鮮だった。そつ  
いったシチュエーショ  
ンは意外にも少ないの  
である。このような理  
由から、私は朝読の時  
間をとても貴重な時間  
だと感じている。生徒  
の立場からすれば、教  
師が朝読にやってくる  
のは、時間通り開始さ  
せるためだが、他の  
事をしている生徒を注  
意するためだとか思っ  
たろう。しかし本当は  
一緒に本を読むために  
来ているのである。私

は必ずロールカーテン  
を上げて、気候の良い  
時期は窓も開けて朝読  
を始めるようにしてい  
る。通常なら朝はとて  
も忙しく、パタパタと  
過ぎてしまつ時間帯で  
ある。朝日の中、心を  
落ち着かせて読書がで  
きるのはなんと贅沢な  
ことだろうか。  
様々なデバイスであ  
る昨今、大人も子  
どもも、やりたい事、  
やらなければならぬ事  
が増え、読書に割  
く時間が減っているの  
は確実である。私の場  
合、落ち着いて読書が  
できる時間は皆無とい  
つても良い。暇な時間  
ができたとしても、音楽  
を聴きながらパソコン  
でインターネットなど  
をしていると知らない  
間に時間が経っている  
事も多い。中学生時代  
も本を読む時間がある  
ならゲームをしたとい  
うていたし、実際に  
うしていた。もし、中  
学生の頃、朝読が実施  
されていたら、いろいろ  
な本に出会っていた  
かも知れない。  
生徒の中には、朝読  
を苦痛に感じている人

もいるだろう。宿題を  
やり忘れたときなど、  
朝読がなければと、  
恨んだ事もあるだろう。  
しかし、普段から読書  
習慣がない人にとって  
唯一の読書時間であり、  
朝読がなければ一生読  
む事がなかったかも知  
れない本を読むチャン  
スとは考えられないか。  
朝読開始から十分後、  
八時二十分のチャイム  
に、いつもがっかりし  
ながら本を閉じるので  
ある。

もいるだろう。宿題を  
やり忘れたときなど、  
朝読がなければと、  
恨んだ事もあるだろう。  
しかし、普段から読書  
習慣がない人にとって  
唯一の読書時間であり、  
朝読がなければ一生読  
む事がなかったかも知  
れない本を読むチャン  
スとは考えられないか。  
朝読開始から十分後、  
八時二十分のチャイム  
に、いつもがっかりし  
ながら本を閉じるので  
ある。

**私学SLA図書委員研修会に参加して**  
2011.10.8 (土) 関西学院中学部  
参加校数：9校  
(甲南・小林聖心・啓明・滝川・滝川第二・  
六甲・三田・灘・関西学院)

去年の十月八日、私たち図書委員は関西  
学園中学部の図書館で兵庫の私立学校の図  
書委員を対象にした研修会に参加してきま  
した。  
メンバーは委員長と中学生二名の計三名  
でした。  
今回の研修会の目的は「理想の図書委員  
活動を考えよう」というものでした。  
研修会は、まず最初にそれぞれの学校の  
図書委員の主な活動を発表し、その後関学  
側から「図書館の自由」についての説明を  
うけ、それらをふまえて五人程度の班に分  
かれて「理想の図書委員活動」について考  
え模造紙一枚にまとめて発表する。とい  
う流れで進んでいきました。  
以下は研修会に参加した中学生たちの感  
想です。

中学三年  
若林 日向

関学の図書館に入っ  
て、まず驚いたのはそ  
の大きな面積です。甲  
南の図書館よりも広く  
スペースがありました。  
そこは中学生用の場所  
で、他に高校生用の図  
書館が別にあるのです  
が、それでも莫大な量  
の本がそこら中にあり  
ました。造りとしては  
入り口近くに大量のマ  
ンガが置かれていて、  
真つすぐ進むと調べも

は閲覧コーナーに移動  
してテーマについての  
自分の考えや提案など  
をそれぞれ言い合いま  
した。大体の班はこの  
後に資料を使つたりし  
ながら発表する内容を  
まとめて作つていった  
のですが、僕のいた班  
など意見をぶつつけ合  
うのに熱中し過ぎて、残  
り時間あとわずかと  
いうところ作りはじめ  
る班も少なからずあり  
ました。その後は、最初  
の部屋に戻つて自分た  
ちでまとめて作つた  
のを発表していました。  
僕たちの班は全然ま  
とめられず、ずっと喋  
っているだけのようにな  
らなくなってしまったの  
ですが、自分とは違  
う考えや見方を持つ人  
たちがいることがとて  
面白くて、いい経験が  
できたと思います。  
全ての班の発表が終  
わつた後に、後片付け  
をしてそれぞれ学校  
へと帰つて今回の交流  
会は終了となりました。  
会はずな人たちが意見  
や考えについて話し合  
えて楽しかったので、ま  
た機会があれば参加  
したいと思えます。

中学二年  
原 将仁



私達の班は、一人一人がいろいろと思うことを発表し、その中から議論して良いと思うものをまとめるという方針でいきました。  
結論からいいますと、「十冊の本を二週間借りられる」、「一か月に一回リクエストという形で集め、その後図書委員で議論し、通った本を入れる」、「基本は取り扱わない。しかし、必要だと思う

なら司書さんに頼む。実際に取り扱つのは先生と司書さんのみ」となった。

もちろんこれらの結果に至るまでにはたくさんさんの案が出されたのですが、その中に今でも忘れることができないものがあります。それは、「何冊の本をどのくらいの間借りられるようにするべきか」という議題のときにある人が言った、「一冊を一週間借りられるようにすべき」という意見です。その人によるとその方針はすでにその人の学校で実施されていて一冊の本をしつかりと熟読させるためというのだそうです。また、その方針に対しては変わってはいませんが以上の理由より誇りをもっているとも言っていました。私はと

私の学校で実施されていて一冊の本をしつかりと熟読させるためというのだそうです。また、その方針に対しては変わってはいませんが以上の理由より誇りをもっているとも言っていました。私はと

いうより私の班全体が感心させられました。確かに普通の人なら中々考えられないことですが、根拠がしっかりとしていて、またその根拠に誇りを持てるのは今までの案とは違ひどこか光っているようにすら感じられました。私の中でうらやましいと思った反面、負けられないという対抗心を持たされた少し苦しい思い出です。そして何より私たちがこの会に参加して驚いたのは、皆熱心に論議に取り組んでいたことです。一見どつでもいよいよな事で話し合っているようにも見えます。しかし、「図書館に来てよかった」、「また来てほしいな」という先生・生徒の気持ち忘れなかつたので、このように熱心に取り組めたのだと思います。私はこの交流会で図書委員本来の目的を確認することができ、自分分は図書委員の一人であるという自覚をいつも以上に持てたと思っています。

# 文化祭の報告

2011年11月3日(日)

この交流会の意味はとても大きく、私自身の成長にもつながったと思います。また来年もあるのなら進んで参加したいと思っています。

## 紙飛行機コンテスト

中学一年 筒井豪久

紙飛行機コンテストでは様々な成功点と反省点があります。成功点は準備がある程度できていこと、紙飛行機を飛ばすまではスムーズにできたこと接客を上手にできたこと、他の人と協力できたことなどです。反省点は紙飛行機を飛ばす時のルール説明が不十分だったこと、練習不足で時間がたりなかつたことなどです。この成功点と反省点をもと、今年度初めて行なつたわりにはとても上手にできたと思います。なんだかんた言つて成功したこのコンテストは地道で時間がかかりました。この地道作業を経てこのコンテストができ、その作業を一緒にした友達がいまは僕の方から話を持ちかけ一緒にやってみなしかと誘い了解を得てこのコンテストの主務

をしてもらいました。もちろん他の先輩の助けや協力によつた成功したのでそのことを忘れずにいます。僕が主にした作業は紙飛行機の飛ばす種類の決定のほかに多くの仕事をしました。中でも大変だった作業は受付でした。なぜかという、臨機応変に対応しないといけないからです。僕はこの仕事を任せられていい経験になりました。この作業を活かして、様々なことに挑戦していきたいです。来年このコンテストをするのならば、また参加して反省点を改善したいです。





# 東日本大震災の被災地へ本を贈ろう！



東北関東大震災では人の命だけではなく数多くの本も失われてしまいました。この様子を見て私たち図書委員は、図書館で何かできないかと考えた結果、今年度の文化祭で行われる予定だった古本市の代わりに皆様から寄付していただいた本を選別して被災地の小中高や仮設住宅に提供し、それ以外の本は売却しその売却額を寄付することに

なりました。まずこれをするにあたって私たちは皆様から本の寄付を募り、そして集まった本をどこに送るかを選別し、そのリストを作り、リストごとに箱に本を詰めるといふ作業を行いました。また文化祭に展示するための模造紙もこの作業と並行して行いました。

早く被災地が復興して、その学校の子供たちが送った本を読んで笑顔で過ごせる日々がくるよう期待しています。

集まった本は、現在のところ、受け入れ先を検討中で、一般向けの

この企画を行って私は集まった本の冊数に圧倒されると同時にこれだけの人が大震災に関心を持ってくれているのかと、とてもうれしく思いました。

**回収した冊数**

- ・ 一般 : 1149冊
- ・ 小 : 575冊
- ・ 中 : 235冊
- ・ 高 : 195冊

計 : 1811冊

ご協力ありがとうございました

## 図書委員有志で本を選んできました！

12月16日(金)の午前中に中学生8名、高校生4名の図書委員が、ジュンク堂三宮センター店にて、計37冊の本を選んできました。自分たちが選んだ本を少しですが、紹介します。ぜひ手にとつて読んでみてください。



### 『愛娘にさよならを』

中学三年 伊藤 嘉哉

本書は、ドラマや映画で話題となった「アンフェア」シリーズの原作「刑事雪平夏見」シリーズの最新作となっています。

前作を読んだことのある人なら分かると思いますが、犯人について考えさせられる点がたくさんあり、犯人が分かった後も飽きることなく読み続けることができる推理小説です。ただ、前作や前々作に比べると犯人がすぐに分かっただけで、面白くないという声も聞かれました。しかし、この本は前作よりも面白いです。純粋に推理を楽しむことをおすすめています。また、いきなり本作を読んでも大丈夫です。ネタバレにならないうえ、前作の面白さを引き継いでいます。ぜひ読んでみてください。



著者名 秦 建日子  
出版社 河出書房新社  
分類 Y はた 4

### 「4ページミステリー」

高校二年 碓 一 稀

僕が紹介する本は蒼井上鷹が書いた「4ページミステリー」です。4ページのミステリー、というところ、そんな少ないページ数でミステリーなんて？」と思う人もいるかもしれませんが。しかしたった4ページ、それだけでお手軽ミステリーが出来上がっているんです。

この本はいかなればミステリーのショート・ショート集ですが、決定的な違いは4ページという数です。何故4ページなのか。ミステリーを読むとき大抵の人は「どう殺されたか」「どのようなトリックが使われたのか」を考え推理し読み進めるはずですが(人間関係や動機に着目して読む人も少なからずいるかもしれませんが)。そのためミステリーにとって横を見ればトリック・殺害方法がすぐにわかってしまうショート・ショートとの相性は最悪だと言えるかもしれません。

そこで「4ページ」というのが大切になってきます。初めの2ページに殺された状況などの問題部分、後の2ページに謎解き部分を持つてくることよって3、4ページ目を開くまでトリックが分からないようになります。そのためゆっくりと考えることが出来、ミステリーを楽しむことができます。また、このようなタイプの本は話になかったり(ただ問題が書いてあり、その後で答えがある)するものが多いのですが、この本の話は人物名やその関係まで作りこんであり、普通の短いミステリーとして読むことが出来ます。

「ミステリーはよんでみたいけれど長いのはちょっと・・・」という人や、短い時間で謎解きしたい!・ミステリーを読みたい!という人はこの本を読んでみてはいかがでしょうか。

著者名	蒼井上 鷹
出版社	双葉社
分類	Y あお



### 「吟遊詩人ビートルの物語」

中学一年 中村 諒

この本はイギリス魔法界に古くから伝わる寓話・童話で、魔法界で生まれた子供なら誰でも知っている物語です。ハリーは知らなかったようですが、ロンやダンブルドアはよく聞かされていたようです。

物語の中では、富を求めようとしたり力を自分だけの物にしよんとする人間が最後にどうなるかが書かれています。道徳的にもいい話で、心が温まります。

そして、5作のそれぞれにアルバス・ダンブルドアの面白い解説が付いています。

ハリー・ポッターを全て読んだ、もしくは映画を見た人はもちろん、読んだ事が無い人や今から読もうと思っている人まで、機会があったらぜひ読んでほしいです。

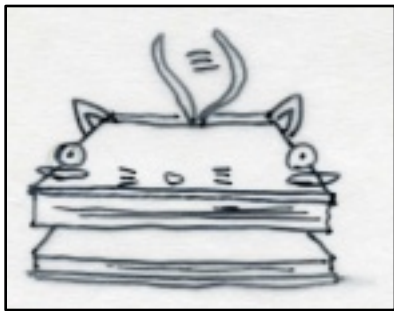
著者名	J Kローリング
出版社	静山社
分類	Y ロリ



### 「お知らせ」

図書館の公式?キャラクターが決まりました。ですが、まだ名前が決まっていないので募集します。製作者のコンセプトは「本x猫」です。応募方法は、図書館にある応募用紙に考えた名前を記入して司書さんに渡してください。

是非良い名前をつけて可愛がってあげてください。たくさんの応募をお待ちしています。



### 調味料を使うのがおもしろくなる本

高校二年 和田 聖矢

私が今回紹介するのは、「調味料を使うのがおもしろくなる本」です。小腹が空いていたのでたまたま手にとってしまった本なのですが、これが結構面白い。何が面白いかというと、調味料の特徴の表現法です。

例えば、おろしニンニクの部分では、「どんなクセの強いものにも立ち向かって、しかもねじ伏せることができる。味の闘将」といったところでしょうか」と表現しています。

いや、めちゃくちゃカッコイイですね、ニンニクさん。マジ、パネエです。ちなみにこの後ニンニクの匂いの消し方も載っています。気になる人は続きはWEBで……じゃなくて本でちゃんと読んでくださいね。

この本は全七十三の調味料が「いつも使っている調味料篇」「どう使ったらいいのかわちよつと悩む調味料篇」「和食(さしすせそ)調味料篇」「ハーブ&エスニック篇」の4種類に分かれており、それぞれ豆知識やどんな料理と合うか等が載っています。読んでみてはいかがでしょうか。



著者名 青木 敦子  
出版社 扶桑社  
分類 596 A

皆さんも、ぜひこの機会にこれを読んで最近流行りの料理男子を目指してみたいでしょうか。

### JR脱線事故からの生還

キャリア・カウンセラーが綴った再生の記録

中学二年 平田 奨

皆さんは二〇〇五年四月二十五日に起こったJR福知山線脱線事故を覚えていますか。二〇〇五年四月二十五日の午前九時十九分ごろ、塚口駅尼崎駅間の曲線塚口駅南約1km、尼崎駅の手前1.4km地点で、電車が脱線し発生したこの事故は運転手含め、死者107名、負傷者562名と未曾有の大惨事となりました。

この本は被害者の内藤友子さんが書かれた本で、内容を一部紹介すると

「その日の朝、わたしは、大阪府庁に行くためにJR伊丹駅から大阪行きの快速列車に乗った。(中略)このときだって時間にしてみればわずかわずか五分の違いだったけれど、私にとってはその五分の違いが大きかった。だが皮肉にも、それが、私の運命を大きく変えることになった。」

「通常だと塚口駅の構内を過ぎたあたりで鈍い軋むような音を立ててブレーキがかかる。それがかららない。そればかりか、かえってスピードが上がっているような気さえする。」

(両方とも第一章「暗転」その時より)

といった事故の経緯やその後のPTSD(心的外傷後ストレス障害治療、仕事復帰などが綴られています。読んだ人がどのような感想を抱くかはわかりませんが、一度読むことをおすすめします。



著者名 内藤友子  
出版社 本の泉社  
分類 916 ナジ

### 編集後記

さて今年度の読書二味いかがだったでしょうか。

今年は震災や文化祭研修会に交流会など近年稀に見る日程記事が多く集まったので読み応えのある号になったと思います。

最後に、私事ではありますが遂に図書館に「Fate/Zero」が入りました！ やったね俺(AKP)

今年と同輩、後輩たちが沢山文を書いてくれたため、例年にないボリュームになりました。

来年は交流会など色々なイベントに積極的に参加していきたいと思っています。

来年も書くんだろっなあ・・・(は)

今年初めて編集に参加させていただきましたが、意外と大変な作業で驚きました。

来年はもっと大勢で楽しくやれたらいいです！(は)